



**JR東労組** (東日本旅客鉄道労働組合)  
 東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
 JR新宿ビル13F 〒151-8512  
 電話 03-3375-5740(代)  
 発行人 山口浩治 編集人 湯ノ目亜矢子  
 月1回発行/一部20円  
 (組合員の購読料は、組合費に含む)

2020年1月21日  
 第706号



JR東労組ホームページは  
 ←こちらからアクセス  
<http://www.jreu.or.jp/>



# 2020年スタート!

JR東労組中央本部は、1月8日「2020旗開き」を開催しました。全日本・各都部の代表者が集まり、現実を踏まえた上で、組織強化・拡大に向けての意思統一を行いました。また、ウソ・偽りで組織化することなく、18春闘の教訓を我がものとし「新生JR東労組運動」を前進させていくことも明確にしました。

その後、多くの来賓の方を招いて、新春祝賀会を開催しました。多くの連帯する仲間と共に、安全で働きがいのある職場と安心して働ける社会をつくり出していきます。



## 用語の解説

### ※1 デジタルトランスフォーメーションとは

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位を確立すること。それによって企業として安定した収益を得られるような仕組みをつくること。

### ※2 「2025年の崖」とは

2025年までに、今、企業で運用している様々なシステムの刷新をしないとメンテナンスの費用増加や機能拡張の限界などに直面し、年間最大12兆円の経済損失が発生する可能性があるという試算をもとに打ち出したもの。崖を転がり落ちるように企業が収益を得られなくなるということ。

# 情勢を正しく認識し「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる職場をつくりあげよう

## 2020旗開き 山口中央執行委員長あいさつ (要旨)

### 労働者意識を高めよう

安倍首相は年頭所感の中で憲法改正について強い決意を示しました。私たちは改憲を阻止していくために、推薦議員等懇談会の仲間や9条連の仲間との連携をつくり出していかなければなりません。

幼児教育の無償化に加えて、高等教育の無償化が始まります。2020年度より、小学校から順に新学習指導要領が実施されます。これまでの「覚え込む教育」から、「自ら課題をみつけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動できるよう」にするための人材を育成していくと謳われています。まさに、これからの高度な情報化社会や、グローバル化の時代を生き抜くために何をなすべきかという行動を身に付ける教育と言えます。

しかし労働組合の観点から見ると、どんな悪条件下においてもそれを是認し、自分の生き方を合わせていくというようになり、私たちを取り巻く外的な条件を変革していくという意思が弱くなってしまうのではないかと危惧されます。職場活動を強化して、JR東労組運動を将来にわたって強化していくためにも、教育の変化にも着目していかなければなりません。

### 情勢を正しく認識し 検証しよう

経団連・中西会長の新年メッセージでは、昨年発足させた「デジタルトランスフォーメーション会議」(※1)の議論を推進して、日本の産業構造の変革を進め、新たな挑戦を促す競争環境を整備するための新たなルール作りと、制度改革の方向性を積極的に打ち出していくことを明らかにしています。さらに経済産業省は「2025年の崖」(※2)への警鐘を鳴らしています。

JR東日本は2016年11月に「技術革新中長期ビジョン」を策定し、様々な技術革新に挑んでいます。

会社は「一人」と「システム」のベストミックスによる働き方を見出すとしています。少ない労働力で収益を上げるには、生産性向上以外にないという資本の論理を前面に施策を打ち出しているでしょう。

個別課題についてはこれまで同様、各都本との議論を重視して、職場現実を踏まえてたまたかの方向性について議論していきます。そして同時に、職場で発生している問題を正確に掴み出して、その根拠を掘り下げて、検証運動を強化していきます。

### 「新生」JR東労組運動を 確立させよう

私たちは、昨年の台風による災害の復旧作業や、安定した輸送の確保など、組合員の努力により職責を越えて危機的な状況を乗り切ってきました。だからこそ、全組合員の賞金の底上げを図ることこそがモチベーションを高めるための大きな課題であると言えます。JR総連春闘としてたたかうために、JR総連および各単組とも連携を取りながら要求をつくり出していきます。

私たちが組合員や会社に向けて打ち出したたたかいに対して、動があれば反動もあります。18春闘のたたかいを、私たちが主体的に反省するならば、「離脱した組合員は裏切り者」とか、「組合員の脱退はすべて会社の責任」だと切り縮めることができるでしょうか。改めて「大敗北」を喫したたたかいに向き合い、そのことを教訓化し「新生JR東労組運動」をしていかなければなりません。

昨年の定中で18春闘の過程において発出した本部長見解などを撤回しました。それは、内容が事実と異なっていたからです。ウソ・偽りは自己保身の裏返しです。私たちは大敗北総括以降、自らの誤りや様々な偏向と向き合ってきました。18春闘の痛苦な教訓を主体化できないの

### 労働組合らしく たたかろう

であれば「新生JR東労組運動」のリーダーとしては失格です。

私たちに労働協約があり、団体交渉もきちんと行われています。現に、秋田県本や大宮都本の団体交渉、あるいはバス関東本部の団体交渉を振り返っても、会社の対応は私たちの指摘を受け止めたものです。職場の組合員が立ち上がり、問題点を確定して会社と正面から議論し、解決していくという自主解決能力が高まっている証左であると言えます。

私たちの最大の課題は、組織強化・拡大です。社会的にも労働組合の重要性が叫ばれています。

今年一年、時代の流れを正しく掴み、職場活動を原点としたたたかいにこだわって、組合員とウソ・偽りのない現実を共有してたたかい抜いていきます。大きく社会が変化化する中、労働組合らしく職場を原点にたたかっていきます。

組合員の皆さん、JR東労組の旗の下に結集し「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる職場をつくりあげましょう。中央本部は「新生JR東労組運動」の先頭に立ち、組織の団結強化、組織拡大のためにたたかいます。



昨年、ペ  
 シャワール  
 会・中村哲  
 さんが何者  
 かに襲われ  
 急逝した▼

政経フォーラムでも講演をいただき、「100万発の銃弾よりも一本の用水路」とアフガンスタン国民のために井戸を掘り、用水路建設を行ってきた中村哲さん。人々が生きるために、戦争で疲弊した土地を緑の地へと蘇らせるための活動は「軍事によらない真の国際貢献」である▼「憲法9条があるから活動できる」と言っていた中村哲さんは、米国に追従し戦争の道へ進む日本の政治に対しても厳しい指摘をしてきた。アフガンスタンの現地で戦争がもたらす悲劇を間近で見えてきたからこそ、現地の悲惨さと憲法9条の必要性を訴える姿は力強かった。しかし安倍首相は、年頭所感で新しい時代の国づくりとして憲法改正に強い決意を示している▼今年日本で開催されるオリンピック・パラリンピックの成功に向けて、JR東労組は万全な体制をつくっていく。オリンピックは平和の祭典と言われ、古代ギリシャ時代は戦争をしていてもオリンピックのある年は戦争を中止し、オリンピックに参加したという▼世界の5つの大陸を表し、世界が一つになることを示す五輪旗のように、憲法9条も世界をつなぎ平和な社会をつくる象徴にしなければいけない。オリンピック輸送を担う中で、真の平和をつくり出していきたい。(S・S)